

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2020 年 11 月号 (第 142 号)

発行責任者 佐藤 重松



「コロナ禍の中、倶楽部まつりも中止となり、屋外でトライしたギャラリー」

所沢の自然と農業サークル 場所：市民大学ファーム 撮影者 中原幹男氏



第 14 期総会および映画鑑賞会のお知らせ

総務部長 中原幹男

来る 11 月 25 日 (水) 新所沢公民館ホールにおいて、第 14 期ところざわ倶楽部定期総会を開催します。

現 13 期は、新型コロナの影響で、時局講演会、文芸講座、ところざわ倶楽部まつりの 3 大行事が中止となりました。

今でも市内公民館等公共施設は感染対策のため、利用制限がかかっています。

このような中、昨年から総会会場として予約していたミューズ展示室も最大 75 名の人数制限がある

ため、会場を新所沢公民館ホールに変更して、十分にコロナ対策をとりつつ定期総会を開催します。

総会におきましては、コロナ禍の現状をふまえて今後どのように活動を行っていくか、みなさまとしっかり議論を深めたいと思います。

後半の映画鑑賞会では、懐かしい映画を鑑賞して日頃の緊張を癒していただければ幸いに存じます。

あらすじ

上州軽井沢の浅間山のふもとの村で育った娘おきんは家出後、東京に出てリリィ・カルメンという名のストリッパーになっていた。過去に牛に蹴飛ばされ泡を吹いて倒れた経歴を持つリリィはその影響か少々頭が弱い。リリィは「裸踊り」を芸術だと信じて疑わない。ある秋彼女は同僚の踊子マヤ朱美を伴い故郷へ錦を飾りに帰ってくる。さてどうなることやら。後は見てのお楽しみ…。 (記 新井智子)



◆定期総会 13 時～14 時

◆映画鑑賞会 14 時 15 分～16 時

題 名：カルメン故郷に帰る

出演者：高峰秀子、笠智衆、小林トシ子、他

監督：木下恵介

配 給：松 竹

※1951年の松竹大船撮影所制作のわが国最初の総天然色映画。

ところざわ倶楽部の HP に関するアンケート

広報部 玉上 佳彦

広報部では、9月から10月にかけて、会員の皆様の HP の利用状況についてアンケート調査を実施しました。アンケートは、Google フォームを使って作成しました。アンケート回答は全部で 94 名とやや少ない結果でしたが、大まかな利用状況が把握できたと思います。

アンケート結果を以下に報告いたします。

1. パソコンを使用する頻度（メールチェック、HP 閲覧など）はどのくらいですか？

毎日 : 73%
週に 2、3 回 : 22%
週に 1 回 : 5%

目的：情報収集、メールチェック、ネット閲覧
ネット通販、証券取引、新聞代替など

2. ところざわ倶楽部の HP を閲覧する頻度はどのくらいですか？

更新案内を受信した時 : 63%
毎日 : 6%
週に 2、3 回 : 11%
週に 1 回 : 11%
月に 1 回 : 5%
ほとんど見ない : 3%

理由：情報収集、講座などのチェック、会員の動向を見る、サークル活動のチェックなど

3. パソコンでわからないことがあった場合は、どうしていますか？

知人に相談する : 30%
メーカーのサポート : 19%
サポート業者に相談 : 10%
販売業者に相談 : 7%
その他 : 35%

4. ところざわ倶楽部の HP について

非常に満足 : 26%
満足 : 61%
やや不満 : 8%
不満 : 3%
必要ない : 2%

5. その理由は？

内容が充実、定期的な更新で新しい情報入手が容易、他のサークルの活動がわかる、よくやっている、感謝している、対話の機能に欠ける、など

6. ところざわ倶楽部の HP は誰が作成しているかご存知ですか？

よく知っている : 90%
知らなかった : 9%

（この設問は愚問でした→反省しています）

7. ところざわ倶楽部の HP に期待すること

継続を期待、投稿者の増加、女性会員の声、身近な情報に期待、柔らかい内容を、など

8. ところざわ倶楽部についてのご意見・ご提案を記入して下さい。

現状に満足、高齢化に役立つ情報を、世代を超えた交流が可能、オンラインの利用促進を、アンケートをもっと頻繁に、など

9. 年齢を教えてください

70 代 : 79%
60 代 : 10%
80 代以上 : 11%
50 代 : 1%

10. 性別を教えてください

男性 : 71%
女性 : 28%
答えたくない : 1%

ところざわ倶楽部として初の Web でのアンケート調査でしたが、今後は、更に設問を吟味して、会員の皆様のご意見・ご提案を的確に確認できるようにしていきたいと思っています。



継続を希望する意見が多いうでした

原発・火力発電・再生可能エネルギー問題

～望ましいエネルギー・バランスについて～



○現在、我が国のエネルギー政策が分かりにくい形で改悪されています。特に、以下3つの制度は悪質です。制度を理解した上で、私たちも反対を主張したいと思います。

○更に、**石炭火力発電輸出**についても、「今後は、海外の石炭火力発電所への公的支援は原則としてしない」といいながら、現在建設中の3基（ベトナム/バングラデシュ/インドネシア）については例外として認めています。この問題に関しても FoE Japan, 気候ネットワークなど5つの環境市民団体が政府に意見書を提出しています。

1. **石炭火力**：非効率な中小火力を廃止しただけでは、パリ協定は守れません。

○経産省は、7月初旬に「非効率な石炭火力発電のうち9割弱の100基を、2030年までにフェードアウトすることを検討する」と発表しました。本当に石炭火力発電が9割も減るのなら朗報ですが、実態はどうでしょうか。

○経産省が作成した全国の石炭火力発電所のリストによると、

- ・現在我国にある石炭火力発電所総数：150基
- ・うち、旧型のもの（発電効率40%未満）：115基
- ・うち、新型のもの（発電効率40%以上）：35基
- ・9割弱というのは、**発電効率が40%未満の旧型中小発電所のうち、100基をフェードアウトする**、ということです。同時に「発電効率の良い発電所は維持拡大する」とも云っていますので、これでは**発電能力として40%しか減らない**のです。
- ・これ以外にも、現在建設中や計画中のものが17基もあります。エネルギー基本計画のうち、2030年に石炭火力の占める比率は、**26%のまま据え置かれています**。

○これでは、パリ協定での目標：2030年までに温度上昇を産業革命以降+1.5℃迄で押さえるという目標には到底届きません。その目標を達成するためには、OECD諸国としては**2030年までに石炭火力は廃止**する必要があります。更に大規模で高効率の石炭火力発電を残すことは、大規模電源の一極集中につながります。「小規模・分散型」が今後のあるべき方向です。

○このために経産省の新しい方針には、自然エネルギー財団・IGES・FoE Japan その他多くの環境団体が反対しており、「パリ協定との整合性を維持するために、2030年までに石炭火力はゼロにせよ」と主張しています。

2. **容量市場**：この制度によって小規模新電力は淘汰され、大手電力の寡占が強まる恐れ大。

○この市場を新設した趣旨は、「将来の安定電源確保のため」という名目で、1800億KW分の手電力の原発・石炭火力のコストを、2024年から太陽光や風力発電事業が「託送料」で負担するというもの。その金額は年間1.6兆円と巨額になります。

○もちろん、大手電力も太陽光や風力発電すれば負担しますが、受け取る金額の方が圧倒的に巨額なので、新電力は「値上げ」をしないと経営が苦しくなりますが、大手電力は受け取る金額が大きいので値下げできます・・・この結果、新電力は淘汰され、大手電力の寡占体制が強まる可能性が大きい。

○こんな制度は見直すべきです。20社を超える再エネ新電力各社が連名で、梶山経済産業大臣と小泉環境大臣への要望書を提出しました。

3. 「**原発損害賠償金**」と「**廃炉円滑負担金**」：これらも新電力の託送料として請求されます。

○2020年10月から、託送料金に「福島原発事故の損害賠償過去分」と「既存原発の廃炉円滑化負担金」が組み込まれました。年間1兆円を超えます。いずれも本来新電力の託送料に組み込まれる理由が全くない原子力関連予算が巧妙に組み込まれているのです。

○もっとも、菅首相発言として、日本も2050年にはCO2排出量をゼロにする、といい始めました。経産省の政策を見直すことになりますので、(恐らく、石炭を減らし、原発を増やすなど) 具体論を見ないとどうなるか分かりません。

来年は、エネルギー政策：電源比率を見直す年です。前回には見直しませんでしたが、**今回は大幅に見直すべき年**になります。政府の政策を見守りましょう。

おすすめの1冊
第11回

「聖書と歎異抄」を読んで

24期 田口 宗利



本書は、本田哲郎司祭(以下本田氏と略称)と作家・五木寛之氏(以下五木氏と略称)の共著です。

内容は対談形式です。私が歎異抄と云う名前を初めて目にしたのは、下村湖人作「次郎物語」でした。主人公の兄、恭一が歎異抄を読み人生観が変わったのです。私も読んでみたいと思っていました。そして近年、“歎異抄をまなびませんか”との募集のチラシを見て学び始めました。

また初めて日本に基督教が持ち込まれた時、宣教師はプロテスタントに近い宗教があるとイエズス会に報告していると、テレビの講座で知りました。五木氏の百寺巡礼をテーマとしたテレビでも、同氏は「親鸞」(上下巻)を紹介している。そして多くの仏教書の他に基督教に関する書籍も多くを読んでいて、何れについても造詣が深いと思います。本書の中の歎異抄の私訳も行っています。このような経緯の中で本書を図書館で見つけ、早速飛びついたのです。

本田氏は釜ヶ崎に拠点を置いて、福祉活動・生活支援を続けながら司祭として聖書と福音を語っている。

或る時私は、歎異抄の講師及び基督教の牧師に、歎異抄と基督教の類似性の有無を問うと、前者は「哲学」と「神学」で違いがあるといい、両者共に基督教と歎異抄の類似性は無いとの説明を得た。聖書は旧新約聖書が纏められた基督教の聖典で、グーテンベルクの活版印刷機が発明されて、ドイツ語の聖書が出版された。それまでは高価で今の時代のように個人で聖書を持つ事は出来なかったもので、説教を聴く聞法であった。親鸞の時代にも文字が読めず聞法であった。

歎異抄は原本が残っていない。親鸞没後に、師の教えと異なる解釈が広まっていることを嘆いた弟子の唯円が、親鸞の真意を伝えようと書かれたものです。頭如上人は「歎異抄」は我が浄土真宗にとって、まさに最重要な聖教であると語っている。

歎異抄で一般によく知られているのが第三章、悪人正機説『善人なほもって往生とぐ、いわんや悪人おや』である。本来の意味は「悪人とは苦悩の多い人」「正機とは正しい姿」である。

五木氏は、正機説を私訳では以下の様に訳している。



(出版・東京書籍)

「いわゆる善人、すなわち自分の力を信じ、自分の良い行の見返りを疑わないような傲慢な人々は、阿弥陀仏の救済の主な対象ではないからだ。他に頼るものがなく、ただ一筋に他力に身を任せようという絶望のどん底から湧き出る必死の信心に欠けるからである。煩惱の塊の身は、どんな修業によっても生死の迷いから離れられない。哀れに思ってたてられた仏の誓いこそ、全ての衆生を救うという阿弥陀の約束なのである。」

本田氏は「悪人正機説」についても、新約聖書の「福音・四書」に書かれているイエス・キリストの価値観と非常に似通っていると評価している。

哲学、神学、仏教学等の才能の無い私が簡単に感想は述べられないが、聖書は人間には原罪があると。浄土真宗も元々人間は罪人であると、類似性を幾つも指摘されている。

私は、次郎物語の恭一が歎異抄の何れを見て人生観が変わったか見いだせなかった。浄土真宗も基督教も底辺弱者の民衆に眼が注がれている。また根底には愛がある。両者共に幼子の様な純真な心を求めている。

本田氏が、釜ヶ崎周辺で亡くなられた引き取り手の無い人々に対して、仮祭壇に線香を焚き真言宗の僧侶が読経し本田氏が傍で名前を読み上げる姿に、つくづく我が国は神仏習合の国であるなあと思った。私は本書を読み学んだ結果、煩惱の塊である故に浄土には行けないと悟られた。

「戦争と平和！」 第25回

古稀を迎えて、戦争の意は何たるかを考える

仲山 富夫

私は戦後生まれである。1945年太平洋戦争終結時、日本は7,200万人の人口であった。私の生まれた1950年は8,300万人(アメリカの統治下にあった沖縄は含まず)であった。

母は10人兄弟の長子である、二人の弟が戦場に赴き二番目の弟が戦死した。長男が戦場から生還した。母は町内で小っちゃな印刷業を営む夫に嫁いたが、夫は戦死した。印字の鉛は強制的に供出させられた。生業は国家のために廃業となった。子三人連れて実家に戻った。夫を戦地に失くした母の妹も子供を連れて実家に戻ってきた。子のために生きるために、水飲み百姓の実家に戻った。

◆ 戦争を語らない親たち

私が小学校の三年生頃と思う。初めて東京へ遠足(バス旅行)時、車掌が説明してくれた『お化け煙突』が記憶にあるが、4号線から都内に入った時、左右に並ぶ二階建ての家屋に、網の目の電線が覆いかぶさるように垂れ下がっていたことが忘れられない。東京の人はこんなところにひしめて住んでいるのか。

上野公園に到着した時、白衣姿の沢山の傷痍軍人がアコーデオンを奏でながら歌っていた、その異様な光景に驚きと恐ろしさを感じた。

ある時、いつも優しい本家の叔父が、私達に笑顔を見せずに、よもぎ色の出征時に支給されたと思う大きめのオーバーを着て、往還を降りて行った恐ろしい顔つきが忘れられない。

日露戦争へ出征したという親戚の大きな体の叔父さんは、いつもどてらを着て炬燵に座っていた。子供ながらに怖かった。道路を徘徊するその叔父を背中に背負って家に連れ戻す大人の男性は戦災孤児でもらい子なのだと知った。小学校3年生の私は親たちに問うたことがあった「戦争とは大変な事だったの」、親たちは、「忘れたなあ」母親は「おじちゃん(母の弟)は、帰ってきたとき、人が変わったようだったな」「おかあさんの家(嫁いだ先)の近くに焼夷弾が何度も落ちてきて那珂川まで逃げていったら川は真っ赤に燃えていた」と、空を仰ぎながら言ったことがあった

親たちは戦争を語らない。生きることが、食べることが精いっぱいだったのだろう。

私が小学4年生になったころか、まだ、テレビがなかったため本家で見るのが楽しみであった。夕食後、みんなが集まって映りの悪い画面を食い入るように見つめるのであった。

ある夜、『人間の条件(五味川純平原作)』が、映りはじめた時、叔父は急に立ち上がり、怖い顔をして「テレビ消して、もう寝ろ!」と声を荒げた。その後、叔父はこのドラマを見ることはなかった。私たちは音量を下げて見ていた。

昭和24年、母は親の言う通りに再婚した。そして私は生まれた。

◆ 戦争による国別犠牲者数(ネットより抜粋)

◇日清戦争：1894.7～1895.3の死者

日本	清
1万 3800人	3万 5000人

◇日露戦争：1904.2～1905.9の死者

日本	ロシア帝国
11万 5600人	4万 2600人

* 司馬遼太郎は乃木大将の戦略を批判(追記仲山)

◇第一次世界大戦：1914.7～1918.11の死者

日本	300人	動員兵力 80万人
ドイツ	177万 4000人	
ロシア	170万人	
フランス	135万 8000人	
イギリス	90万 8000人	
イタリア	65万人	
ルーマニア	33万 6000人	
アメリカ	11万 7000人	

調査16か国(852万9000人)

◇第二次世界大戦：1939.9～1945.9の死者

	死者数	市民の死者数	計
日本	230万人	80万人	310万人
ソ連	1360万人	700万人	2060万人
ドイツ	422万人	267万人	689万人
中国	350万人	971万人	1321万人
ポーランド	12万人	591万人※1	603万人
ベトナム	200万人※2		
インドネシア	400万人		
インド	150万人		
フィリピン	111万人		
アメリカ	29万人		

※1 内ユダヤ系市民270万人

※2 ホーチミンの主張では1944年末から1945年にかけてベトナム北部で200万人が餓死

調査23か国(兵士死者数 合計6478万人)

市民の死者数に驚いています(仲山)

* 第二次世界大戦後、いまだに世界のあらゆるところで紛争が続いている。

紙面がなくなりました。機会があれば、平和について書いてみたいが、平和な世界が一度たりともあったのだろうか。私は知らない。

サークル活動報告

フラワーアレンジメント

脳活サークル N. K 記

3月から3か月間例会を休止したが、6月例会（総会）から活動を再開しました。

9月29日、会員の安田好子さんの指導の下、各自特徴のある花器と飾り物を持ち寄り、フラワーアレンジメントを実施しました。会員11名が集合して、講師の安田さんの指導の下、各々花器と庭の花など持ち寄って、思い思いの作品作りを行いました。終了後、安田講師より、各々の「作品の特徴」や「改善の余地があるか」などの話があり、フラワーアレンジメントの深さ・面白さを学びました。

フラワーアレンジメントはフラワーセラピーともいわれ認知症の治療でも行われています。フラワーセラピーの目的は、「認知症高齢者の方が、より豊かに、その人らしく生き、幸せだと感じて過ごしていくこと」とされています。また、フラワーセラピーは結果ではなく、「草花をアレンジしている工程」が大切とされています。草花をアレンジする工程には、お花の香りを感じる、お花の長さや質感を手で触って感じる、草花の色や形を目で

見て観察する、ハサミで草花を切る音を耳で聞くなどがあり、これらは五感(脳)への刺激となり認知症の方へのケアではとても重要とされています。



*参考（生け花との違い）：生け花は「引き算の美学」と言い、フラワーアレンジメントは「足し算の美学」と言われています。真に「日本文化」と「西洋文化」の違いです。

所沢の食の歴史とこれからの食文化

食を通して所沢を知る会 園田 ヒロ子

コロナ禍で活動を中止してきましたが、久しぶりに講演会を三密を避け、マスク着用などのガイドラインに沿って開催しました。



講師は、安政三年創業の所沢の老舗の醤油メーカー「深井醤油株式会社」取締役の深井隆正氏に「所沢の食の歴史」というテーマでお願いし

ました。所沢の食といえば、うどん・焼きだんご・狭山茶・ゆでまんじゅう・里芋・ほうれん草・人参・さつまいも等々で農産物の生産量は県内で1～3位で全国でも上位に位置しています。

うどんはお正月、お盆、冠婚葬祭に振る舞われ、当時はうどんを打つのは男性の仕事で「うどんも打てない婿だ」と馬鹿にされたようです。焼きだんごは鷹狩りに来た太田道灌（1432～1486）に出したところ、大層喜ばれたのがルーツとのことです。

所沢の食文化は、所沢に水田がなかった為に、麦、陸稲を作り、先人の知恵と創意工夫で、うどん、焼きだんごなどが生まれました。これらを引き継いで、これからの新たな食文化を生み出し、所沢の経済の発展とまちづくりに期待したいと思います。

所沢グルメの新たな動きに「ところざわ醤油焼きそば」「里芋コロッケ」「里芋焼酎」「地ビール」等々所沢商品が開発されました。想いのこもった商品を、住民の一人ひとりが地元の食に愛情と誇りを持ち、消費者として所沢の食文化を育てる事が必要と感じました。



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

11月20日(金)中央公民館6号室 13:00～13:30 受付と準備、
13:30～15:30 及川先生講義(万葉集①)、15:40～16:45 総会
12月11日(金)中央公民館8,9号室 13:00～13:30 受付・準備、
13:30～15:30 講義(万葉集②)、15:40～16:30、例会

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

11月18日(水)13:30～16:00 中央公民館8,9号室 定例会
テーマ：米国大統領選後のアジアを考える
フリーディスカッション
12月23日(水)13:30～16:00 中央公民館8,9号室 定例会
テーマ：未定

3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

11月18日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
テーマ：温暖化等環境問題について学ぶ
12月23日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 04-2949-3434)

11月10日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室
「ジャズ&ポピュラー特集」
12月15日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室
「ベートーベン生誕250周年特集-2」
「楽悠クラブ総会」

5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

11月17日(火)10:00～12:00 ふらっと(会議室)
ミニ講演会「食物繊維の話」講師：玉上佳彦氏
(Zoomでのオンライン配信)
12月23日(水)10:30～14:00 むい食堂 (090-4168-6926)
定例会 忘年会(ミニ講演「ワインの基礎知識」)

6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

11月17日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 ①討論会「中国のエネルギー政策」②持寄り情報
リニア新幹線、他
12月15日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 ①討論会 ②持寄り情報

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

11月11日(水)13:15～15:00 中央公民館1階 学習室1号
定例会「コロナ禍のシニアライフ」
[SP チアダンス練習日] 見学大歓迎
11月14日(土)13:15～ 中央公民館8・9号室
11月28日(土)13:30～ 新所沢公民館ホール

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

11月11日(水)12:00～14:00 山田ファーム秋の収穫祭
11月12日(木)10:00～12:00 新所沢公民館5.6号室 定例会
11月17日(火)9:30～11:30 黄林閣散策路整備ボランティア
11月21日(土)10:00～12:00 トトロ21号地保全活動
11月29日(日)11:00～14:00 城公民館 市大ファーム秋の収穫祭

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010)

11月19日(木)13:20 受付 13:40 講演開始～16:00
生涯学習推進センター1階多目的室
渡辺隆喜先生の講演「自由民権運動と五日市憲法」
11月26日(木)13:00～15:00 中央公民館5号室 例会
12月3日(木) 川越歴史巡り

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

11月14日(土)10:00～12:00 中央公民館3号学習室
「リチャード2世」朗読(継続)
11月21日(土)10:00～12:00 中央公民館3号学習室
「リチャード2世」朗読(継続)
12月5日(土)10:00～12:00 会場未定「リチャード2世」朗読

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

11月10日(火)10:00～12:30 西新井町会館
洋画「007/007は二度死ぬ」(67年)浜三枝・コネリー共演
11月24日(火)10:00～12:30～14:30 西新井町会館
邦画「源太郎船」(60年)中村玉緒・勝新太郎 初共演
⇒ 年度纏め会 一年の総会 開催 イベントもあり！！

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

11月16日(月)13:30～16:00
こどもと福祉の未来館 多目的室3号
曾部 康子 講師による
「小筆で干支を書く特殊な年賀はがき」

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

11月19日(木)14:00～16:00 新所沢東公民館研修室6・7
市議会議員 中村太氏との意見交換会(質疑応答を含む)
定員19名(日程・場所を変更、ご注意ください)
12月21日(月) 新所沢東公民館 「最近の市政から」

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

11月20日(金) 10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
ボランティア活動室1号
「たにしのやせ我慢」完成版の読み合わせを中心に行います。
12月18日(金) 民話の会総会
年度報告と次年度計画。昼食会を行います。

理事会報告 10月12日(月)第10回理事会を開催しました。

◆14期活動方針を議論しました。
全会員をつなぐ事業は、会員相互のふれあいを土台としつつ、感染防止に注意を払い、ライブ会場とオンライン配信での2元的開催を実現していきます。具体的計画として①サークル活動紹介②時局講演会③チャリティーコンサート④文芸講座、これらの行事を世の中の情勢をみつつ、臨機応変に開催します。

広報部と協力して、ネット活用を実現するチームを組織します。
“ところざわ倶楽部まつり”は実行環境を整えるのが難しく、来期は実施を見送りたいと思います。

◆14期総会は、11月25日(水)新所沢公民館ホールにて13時より開催します。密を避けるため、当日の会費等集金は行いません。14:15より上映会。参加申し込みは各サークル理事へ。

みんなの広場 第26回

民話の会
薄井 文子

「しっとこノート」知ってますか！

たまたま 10 月 5 日に特定健診で病院を訪れた際に、掲示されていた「人生会議」（詳しくは厚生労働省のホームページで）のチラシの横に、この「しっとこノート」がつるされていました。

この冊子は所沢の並木、富岡、柳瀬地域包括支援センターとこの地域にある病院、介護・看護ステーション、特養老人ホームと地域住民の皆さんで組織された作成委員会で作られたものです。柳瀬包括支援センターに問い合わせの折、「ご希望で差し上げますので是非皆さんに取り組みを広めてください」とのことでした。



このノートのはじめの言葉には「あなたに関するさまざまな情報をわかりやすくまとめておくためのノートで、もしもの時にあなたの信頼する人があなたの代わりに治療やケアについて難しい判断をする場合に重要な助けになります」と書かれています。

70 歳を過ぎて自身の体力の低下と、私の近辺でも配偶者が認知症になったという知らせを続けて受けました。

にわかに認知症が身に迫ってきました。運動や脳トレを心掛けていても避けられないかもしれません。流れに身を任せて「ぼーと生きて」いないで、今を大事に生きるためにも元気なうちに書いて置かなければと思います。

アマビエに法力あるや稲光
秋雲に乗つて「枯葉」の逝きにけり
木犀の香に包まれて道惑ひ
後手に三人寄りて石榴の実
野仏の丸き目鼻や秋夕焼
秋の夜や旧仮名に読む高瀬舟
芋の葉をころがる水の光かな
一望の十勝連峰秋高し

海老澤愛之助
小林 貞男
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
利根川啓一

数珠玉や名もなき橋をいとほしむ
駅の名はお花畑よ秋七草
番号で呼ばれる医院秋暑し
名月を見ずに早寝の草津の湯
曼珠沙華杳然と聞く女優の死
秋茜八十路の坂に立ちどまり
内羽のもう畳まれず枯蟬

中嶋 弘子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
井出 昇
鈴木 征子

むさし野俳句会（令和二年十月）作品抄

連絡先 小林 2906-4941 井出 2944-9833 海老澤 2922-0259

「むさし野俳句会」も新型コロナ感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者に「照会下さい」。

《編集後記》

ヨーロッパでは先月以降、今春を上回る水準で、新型コロナウイルスの感染が再び拡大。米国では1日あたりの新型コロナウイルス新規感染者が84,218人となり、過去最多を更新（23日、ロイターの集計）。WHOのテドロス事務局長は記者会見で「新型コロナウイルスの流行が特に北半球で重大な岐路に直面している」との見方を示し「今後数ヶ月間、状況は非常に厳しいものとなり、一部の国々は危険な道をたどっている」と指摘。「検査体制を改善し、感染者の接触先を追跡するほか、ウイルスを拡散する恐れのある人を隔離することで、各国とも強制的な都市封鎖（ロックダウン）を回避することができる」と述べている。

何時でも、何処でも、誰もが無料でPCR検査を受けられる（隔離対策を当然伴う）環境を早急に構築することが望まれます。（原田 記）

川柳「五十六」 作品発表 選 中島峯生

課題「ビール」

栓を抜く音で始まる屋外食
コロナ禍に負けるなビールこれにあり
伊達男飲んで乱れぬ酒の席
酒の席酔いが早いな妻の留守
酒席なくかまと呼べれば日は遠く
七不思議まったくだ戸がビール腹

「自由題」

マスクでも眉毛を見れば怒ってる
空気読め笑顔でかわす古い妻
コロナ禍の家事断捨離にこっぴど
自慢癖あたま我慢で口走る
寂しいな秋じゃなくとも財布カラ
世の話題グルメかわいい面白い

縄文 人 庵閑 子 縄文 人
りんご好き 海さとる 突拍子 突拍子
りんご好き 海さとる 突拍子 突拍子
鼻・鬚 鼻・鬚 鼻・鬚 鼻・鬚
どうし 鼻・鬚 鼻・鬚 鼻・鬚
どうし 鼻・鬚 鼻・鬚 鼻・鬚
どうし 鼻・鬚 鼻・鬚 鼻・鬚

次回（第57回）課題「雑談」そして「自由題」
締切り日：11月20日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp、Fax 04-2928-1161

「広場」問合せ 玉上 佳彦（090-2497-1076）